

社会科学習指導案

指導教諭

指導者

1. 指導日時 平成 30 年 7 月 3 日 (火) 1 限 (8:45~9:35)
2. 指導場所 2 年 4 組 教室
3. 指導学級 2 年 4 組 39 名 (男子 20 名、女子 19 名)
4. 単元名 「日本の諸地域 九州地方」
5. 単元目標 九州地方の自然環境や農業、工業の特徴から九州地方の今後について考える。
6. 単元の指導計画

- ①九州地方の自然環境、自然とともにある九州の人々の生活… 1 時間
- ②温暖な気候を生かした農業…………… 1 時間
- ③都市や工業の発展と自然環境…………… 1 時間 (本時)
- ④南西諸島の自然環境と生活や産業…………… 1 時間
- ⑤九州地方の現在と今後…………… 1 時間

7. 単元の評価基準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
九州地方の自然環境や 農業、工業について関心 をもち活動に取り組む。 →学習プリント	九州地方でさかんであ る農業や工業について 自然環境などの特徴か ら理解し、自分の言葉で 意見を書く。 →テスト	九州地方の雨温図や工 業製品出荷額のグラフ から気候や工業の特徴 を読み取ることができ る。	九州地方の火山や平野 の名称、農業や工業がさ かんである地域を知識 として習得している。

8. 指導上の立場

・単元観

日本の産業や工業、農業については前単元で学習し、概要は把握している。本単元では九州地方の自然環境の特徴から、どのような農業、工業が発展し、それはなぜ発展しているのかについて考える。また、九州地方の農業や工業の特徴をふまえて現状について考えることを最終目標とする。

1 限目では、九州地方の自然環境について概観し、今後の学習の手立てとする。なぜ九州地方は温暖であるのかを考えさせ前単元で学習した内容をふまえて考える。2 限目では、1 限目で九州地方の特徴として出した火山が多い、温暖であるという特徴は農業にどのような影響をおよぼし、どのような農業につながっているのかを考える。3 限目では九州地方の位置環境から、古代から大陸とのつながりがあったことを確認し、それは九州地方の工業にどのような影響をおよぼしているかを考える。4 限目では、南西諸島の温暖な環境からどのような産業がさかんであるのかを考える。5 限目では、九州地方の農業や工業の特徴を概観してきたうえで、九州地方の現在の課題と今後九州地方ではどのような農業、工業の発

展が期待できるのかについて考える。

本時の主題は「都市や工業の発展と自然環境」である。この単元では歴史的な知識をふまえて、九州地方の工業や産業、農業のあり方を自然環境の特徴から理解し、現在の課題を探る。九州地方の工業や文化の特徴は、「なぜ鉄鋼業、IC産業、自動車産業が発展したのか」という発問から時系列で九州での工業の発展を理解し、現在の課題を見つける。そのうえで、九州地方がより発展するにはどうすればよいかを考え、生徒が社会で生きるすべを学ぶことを期待する。

・生徒観

生徒は1年次に歴史を室町時代まで学習しており、九州地方で古代に吉野ヶ里遺跡や板付遺跡など朝鮮半島や中国大陸とのつながりがあったことを学習している。また、日本の工業、産業については前単元で学習しており、日本の工業、産業の概要について理解し、工業地帯の工業出荷額などのグラフの読み取ることのできる生徒が多い。生徒は歴史で室町時代まで学習しているが、本時の主題ではまだ学習していない明治時代の知識も活用するので、知識を伝えながら授業を進める必要がある。発問に対し、積極的に挙手し、回答しようという生徒は2、3人で少数である。社会科に対しては関心を持っている生徒が多く、なぜこうなったのかという問いかけには積極的に答えている。

・指導観

明治時代の歴史の知識を、生徒は小学校では学習しているが中学校ではまだ学習していないため、それらの知識は授業の中で補足として伝えながら進める必要がある。前単元では日本の工業や産業について概観しているため、前単元で学習した知識を想起させるような発問をするよう心掛ける。

9. 本時の目標：九州地方の大陸との関わりや位置環境から工業の発展について説明できる。

10. 本時の評価

よくできる (A)	できる (B)	努力を要する (C)	Cの生徒への手立て
九州地方の大陸との関わりについて図表から特徴を読み取り、「なぜ鉄鋼業・IC産業・自動車産業がさかんだのか」について地理的・交通・経済的条件から説明することができる。	九州地方の工業について、教科書に書かれている知識から、まとめることができる。	九州地方の工業について、教科書に書かれていることが読み取れていない。	九州地方の特徴について「鉄鋼業・IC産業・自動車産業」にキーワードをしぼり、どの年代にどの産業がさかんだのかを伝え、九州地方での産業について年代順にまとめてから考えるよう指示する。

11. 本時の展開

過程	学習項目	学習活動	指導上の留意点
導入 (5分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 本時のめあて：九州地方の大陸との関わりや位置環境から工業の発展について説明しよう。 </div>		
	・本時のめあてを確認		

	<p>・九州地方の史跡と大陸との関わりを確認</p>	<p>・吉野ヶ里遺跡、出島、平和祈念像、防塁、(鴻臚館跡、)八幡製鉄所、旧筑豊炭田の画像のスライドを示し、どこに位置するか地図帳(p. 81~82、85)で探す。</p> <p>・調べた史跡が何と関わりが深いのか考える。</p>	<p>・名称は知らない場所が多いと想定するので名称を示してから地図帳(p. 81~82、85)で探すよう指示する。</p> <p>・史跡の概要を説明する。</p>
展開 (30分)	<p>①九州の文化や工業について概観する。 (5分)</p>	<p>・学習プリントを用いて、九州の文化や工業についての用語を確認する。</p>	<p>・教科書(p. 176~177)の内容を確認させる。</p>
<p>なぜ九州地方で鉄鋼業やIC産業、自動車産業が活発になったのだろう。</p>			
	<p>②九州地方の工業の変遷を考える(メモ欄を用いて)。 (25分)</p>	<p>・学習プリントと導入での史跡(八幡製鉄所、筑豊炭田、IC産業、自動車産業)から本時のキーワードとして八幡製鉄所、IC産業・自動車産業を挙げ、それぞれ質問を出す。</p> <p>・「なぜ鉄鋼業・IC産業・自動車産業がさかんであるのか」という発問をし、学習班(9班)にわかれて話し合い、意見交換をする。3つの項目に各3グループが考えをまとめる。</p> <p>・グループで意見をまとめ発表する。意見交換をする。</p>	<p>・鉄鋼業と炭田の関係や地図(教科書 p. 177 ⑧)からIC産業や自動車産業がさかんな地域を読み取らせ、思考の手立てとする。</p>
まとめ (15分)	<p>・九州地方の工業の移り変わり、大陸との関わりについてまとめる。</p>	<p>・九州地方の大陸との関わりや位置環境から工業の今後の発展について考えをまとめる(学習プリント)。</p>	

12. 板書計画

めあて：九州地方の大陸との関わりや位置環境から工業の発展について説明しよう。

九州地方の工業

- ①鉄鋼業はなぜさかんであったのだろう。→鉄鋼石が輸入しやすい、石炭が近くから採れる
- ②IC産業はなぜ九州のどのような地域でさかんだらう。→広い土地がある、高速道路がある、
川の近くに工場を造る
- ③自動車産業はなぜさかんであったのだろう。→鉄資源がある、港が近い、輸出がしやすい

プリントNo.4

- ①博多
- ②福岡空港
- ③石炭
- ④八幡製鉄所
- ⑤北九州工業地帯
- ⑥公害
- ⑦IC

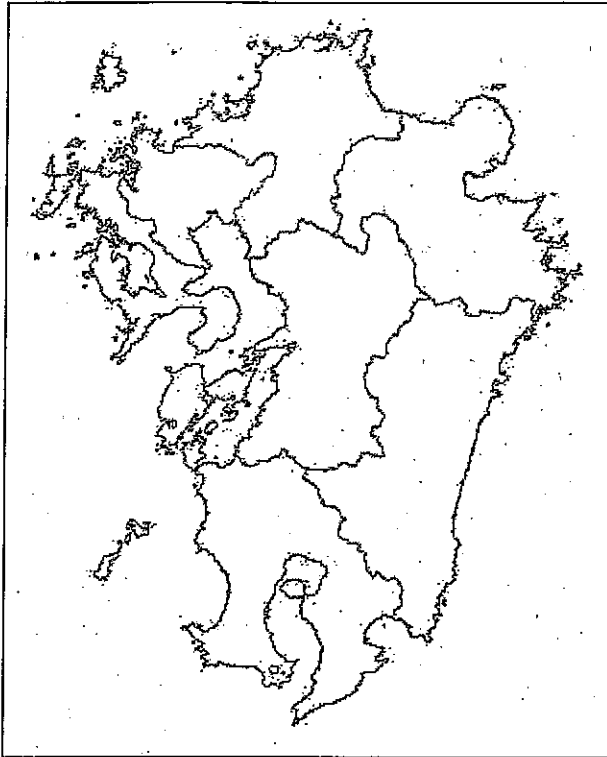
今後の九州地方はどのように発展するだろう

クラスの意見

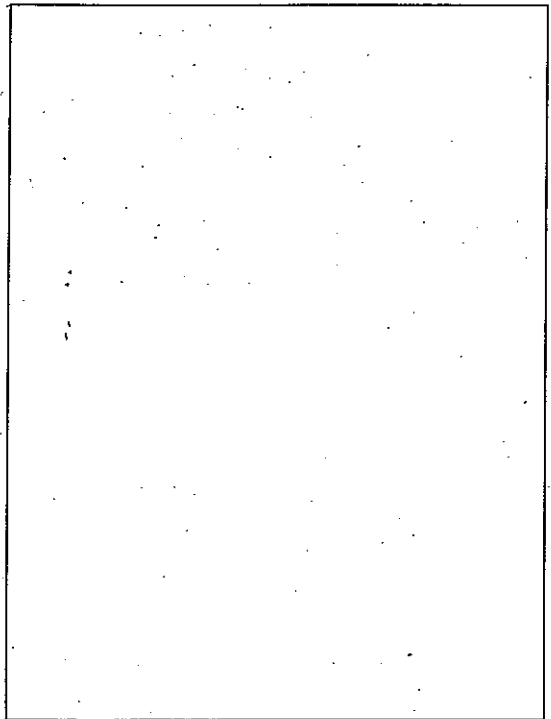
都市や工業の発展と自然環境

本時のめあて：九州地方と大陸との関わりや環境から九州地方の工業の発展について説明できる。

1、九州地方の史跡などの名称を確認しよう。



点を地図に落として、名称を枠のなかに書こう。



2、文章を読んで穴を埋めよう。

九州は古代から大陸との交流の窓口として① _____ が港としてあった。

現在でも② _____ では国際線が開通され、アジア各地の人々が訪れる。

九州では江戸時代から③ _____ の採掘が活発だった。明治時代には官営の④ _____ が

つくられ、のちにその一帯は⑤ _____ と呼ばれるようになった。

第二次世界大戦後、工業地帯では⑥ _____ が発生した。特に熊本で発生したものを⑦ _____ という。

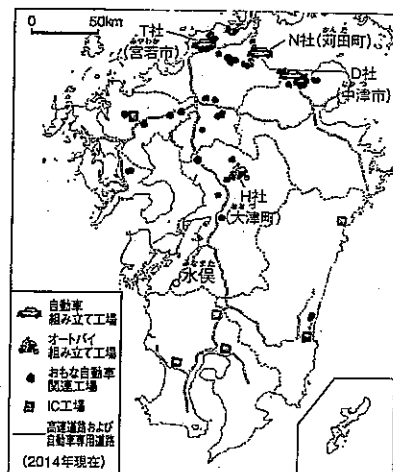
1970年代以降、⑧ _____ 産業が活発になる。

ワーク1：九州地方での各工業、産業についてまとめよう。

鉄鋼業	
IC 産業	
自動車産業	

メモ 上の表を完成させるために使おう！

ヒント



◎九州地方の工業の移り変わりをまとめよう。